

# JSA 神奈川支部通信

No. 1 January 2026 日本科学者会議神奈川支部 発行

事務局長：☎230-0071 横浜市鶴見区駒岡 3-30-G-408 飯岡ひろし

HP：<https://jsa-kanagawa.jp>、携帯電話 080-1987-0994、E-mail：jsa.kanagawa(at)gmail.com

年会費 10800 円、院生・読者 5400 円 ゆうちょ銀行振替口座 00280-1-12774 日本科学者会議神奈川支部

## この号の目次

- ◆ 「建国記念の日」に反対する 2. 11 神奈川県民のつどいのお知らせ 県民のつどい実行委員会
- ◆ JSA 創立 60 周年記念事業のお知らせ 日本科学者会議全国事務局
- ◆ 中原平和公園と川崎平和館の見学の報告 後藤仁敏
- ◆ 神奈川憲法会議・秋の学習会の報告 後藤仁敏
- ◆ 九条かながわの会が憲法を守る運動の交流会を開催 後藤仁敏
- ◆ 2026 年度 JSA 助成研究を募集します JSA 研究助成委員会

## 「建国記念の日」に反対する 2. 11 神奈川県民のつどいのお知らせ

### 2. 11 県民のつどい実行委員会

「建国記念の日」の元となる「紀元節」復活に奔走した国会議員であった額額彌三をご存知ですか。額額は、1928 年の共産党弾圧事件である三・一五事件を指揮した特高課長だった人物です。一時は公職追放されましたが解除されてから国会議員となり、自由・平等・平和をめざす戦後の動きを警戒し、精神・思想の権力による支配と統制を目的として「紀元節」復活を主導しました。

戦争の危機迫る今日、再び私たちの精神と思想を支配しようとする試みが確実に進められています。「未来に過去がやって来る」(辺見 庸) 時代を迎えようとしているのです。そこで今回は、『戦争と弾圧 三・一五事件と特高課長・額額彌三の軌跡』(新日本出版社)の著者で、歴史政治学者の額額 厚さんにお話いただきます。排外主義や安全保障の問題とも関連づけながら、精神・思想をいかに守っていくのか、それが護憲運動の大切な課題である点を強調していきます。

JSA 神奈川支部も構成団体に参加する実行委員会の主催です。多くの会員の皆様の参加を呼びかけます。

**「建国記念の日」に反対する 2. 11 神奈川県民のつどい  
精神・思想の支配を意図する「建国記念の日」～その制定に奔走した額額彌三の軌跡を中心に～**

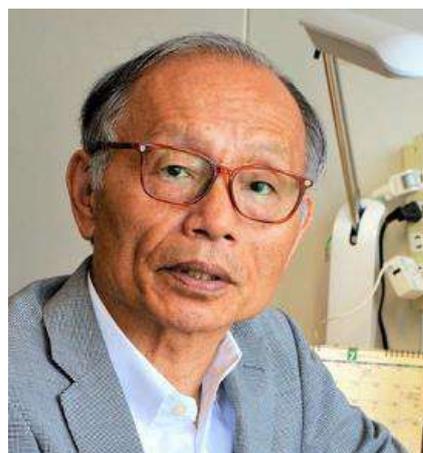
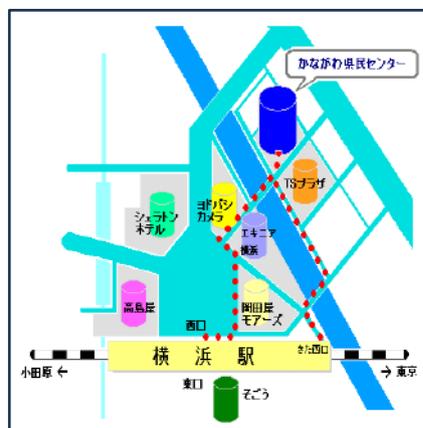
講師：額額 厚さん (山口大学名誉教授・歴史政治学)

日時：2026 年 2 月 11 日 (水・休) 13:30 開会 受付 12:30～  
12 時 45 分頃から上映あり オンライン配信はありません。

会場：かながわ県民センター 2 階ホール(横浜駅西口徒歩 5 分)

資料代：500 円 (高校生以下無料) 事前申し込み不要

講師プロフィール：額額 厚 (こうけつ・あつし) さん



1951年岐阜県生まれ。1973年明治大学文学部卒業。1983年一橋大学大学院博士課程単位取得大学（政治学博士）、1991年山口大学助教授、1996年同大学教授、2018年明治大学教授、現在明治大学国際武器移転史研究所客員研究員。主著『近代日本政軍関係の研究』（岩波書店）、『文民統制』（同）、『侵略戦争』（筑摩書房新書）、『暴走する自衛隊』（同）、『日本海軍の終戦工作』（中央公論社・新書）、『日本降伏』（日本評論社）、『監視社会の未来』（小学館）、『戦争と弾圧 三・一五事件と特高課長・瀧瀬彌三の軌跡』（新日本出版社）、『非武装中立のリアリズムー非武装中立論は空論か？』（緑風出版）。

**主催：2.11 神奈川県民のつどい実行委員会**

**連絡先：神奈川県民のつどい実行委員会（担当・住谷） ☎045-212-5855 当日限り（事務局）080-6709-4147**

**2.11 神奈川県民の集い実行委員会構成団体：**日本基督教団神奈川教区靖国天皇制問題委員会、日本キリスト教会横浜桐畑教会靖国神社問題委員会、在日大韓基督教会横浜教会、神奈川県教育運動連絡センター、神奈川私学教職員組合連合、横浜市立高等学校教職員組合、神奈川県立障害児学校教職員組合、神奈川県教職員連絡協議会、神奈川高校教職員連絡会、横浜教職員の会、川崎市教職員連絡会、日本科学者会議神奈川支部、神奈川労連、神奈川自治労連、自由法曹団神奈川支部、青法協神奈川支部、神奈川県歴史教育者協議会、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟神奈川県本部、アジア・フォーラム横浜、県民連絡会、教科書・市民フォーラム、神奈川平和遺族会

## JSA 創立 60 周年記念事業のお知らせ

日本科学者会議全国事務局

日本科学者会議創立 60 周年記念シンポジウム開催に向けてのメッセージ

### 未来世代に何を残していくのか

日本科学者会議

戦後の急激な高度経済成長の矛盾が顕在化し始めた 1965 年に日本科学者会議（JSA）は創立されました。学術が戦争の遂行に協力したことに深く反省し、人類の福祉と平和のために科学の自主的・総合的な発展を目指し、科学者の社会的責任を果たすことを活動理念としています。この理念に賛同した全国各地の大学教員や研究者をはじめとして、医師や弁護士、教諭、民間研究者、市民の方々など幅広い分野にわたって多くの人々が積極的に JSA へ加入しています。これまで、核兵器の廃絶を含む平和・軍縮の課題、環境を保全し人間のいのちとくらしを守る課題、大学の自治を守り科学者の権利・地位を確立する課題など、時宜にかなった重要な課題の提起とその解決に向けた活動を続けてきました。

近年になって IT 技術の急速な進化は、情報の収集や処理、伝達の方法を激変させています。誰もが瞬時に大量の情報共有が可能となりました。それにより、事実と見間違え映像や記述が意図的かつ巧妙に作成され、SNS を介して不特定多数の人々に瞬時に拡散される事態となっています。民主主義さえも揺るがしかねない情報が世界を駆け巡っているといても過言ではありません。このように激変する社会の中で、新自由主義的排外主義が台頭し、武力侵攻による核抑止論が復活し、強大な経済力を背景とした大国の横暴により国際関係にも軋轢が生じています。戦争や紛争などの直接的暴力が継続されることで、貧困や飢餓、格差や分断、排除などの構造的暴力の拡大とともにフェイク・ニュースやヘイト・スピーチなどの暴力も助長されています。危機的な社会が再来するたびに、不利益を被るのは社会的弱者（子どもや女性、高齢者、障がい者、マイノリティー、移民、非正規労働者など）であることは明白な事実です。暴

力から逃れることができずに今に至っている状況を未来世代に引き継ぐことはできません。人間がこれまでに獲得してきた理性と英知を以て、暴力を回避するための方策を探索することが必要とされます。

戦後 80 年間にわたって、日本による他国への武力行使はありませんでした。それは、日本国憲法が国民に支持されてきたからにはほかなりません。この憲法には、人権保障を支える多様性 (Diversity) や公平性 (Equity), 包摂性 (Inclusion) という DEI の視点も含まれています。また、憲法の平和主義は、持続可能で安定した社会を求めるとであれば多様な自然と社会の構築が必要であり、何よりも恒久的な平和が不可欠であることを示唆しています。そのためには、すべての暴力を回避して恒久平和を実現するためのしなやかでしたたかな内政と外交の戦略が必要です。

高度な IT 技術の進化、成熟社会の指標ともなる DEI への対応、人工物質による環境汚染や危機的な温暖化という地球規模の環境問題など、これまで人類が経験したことのない社会事象が発現しており、政治や経済だけでなく個人のライフスタイルや価値観、感性にまで大きな影響を与えています。時代の転換期といわれる今日においても、JSA 創立時に掲げられた設立理念と恒久平和の追求という普遍的価値は色褪せるものではなく、むしろ輝きを増しているといえます。持続可能で安全・安心な共生社会の創生に向けて、学際的分野における科学的知見と DEI の視点を研ぎ澄まし、JSA の活動を未来世代につなげていくことが必要と考えます。

今回のシンポジウムでは、恒久平和を目指すにあたって、人類史的に暴力の発生とその抑制について再考し、避戦に向けた内政・外交のあり方と人権安全保障について DEI の視点から考察します。

(2025. 10. 16)

**JSA60 周年記念シンポジウム 2026 年 2 月 22 日 (日) 13:30~17:00**

**場所：**中央大学茗荷谷キャンパス B1C16 教室 東京都文京区大塚 1-4-1 (丸ノ内線茗荷谷駅徒歩 1 分)

**開場** 13 時、シンポジウム開催 13 時 30 分から

**シンポジウム テーマ**「避戦と人権安全保障—戦争を回避するための方策を問う」

**基調講演：**1. 山極寿一 (総合地球環境学研究所長、前京都大学総長)「暴力の由来とその解決策について」、2. 加藤陽子 (東京大学教授)「近代日本の歩みの中に戦争を位置づける」、3. 志田陽子 (武蔵野美術大学教授)「『安全保障』の氾濫と人間の生存保障—日本の地経学的課題と平和的生存」

パネルディスカッション (フロアからの質問や意見をいただき内容を深めます)

**参加費：**無料 **参加申し込み：**対面でご参加の方は申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください。オンラインでご参加の方、時期が近づきましたら <https://jsa.gr.jp/d/jsa60> にて申し込みを受付ます。

**JSA60 周年記念祝賀会 2026 年 2 月 22 日 (日) 18:00~20:00**

**会場：**茗溪会館 4 階新泉・筑波 (東京メトロ丸の内線茗荷谷駅出口 2 徒歩 1 分)

**参加費：**1 万円 **定員：**70 名 **参加申し込みは** 12 月半ば受付開始

JSA 創立 60 周年を記念して、記念シンポジウム終了後にささやかならが祝賀会を開催します。会場の都合上、定員 70 名とさせていただきます。参加申し込みは上のサイトにて 12 月 20 日から受付開始します。先着順とさせていただきます。多くの方のご参加をお待ちしています。

**記念 USB メモリ：**JSA 創立 60 周年を記念して、創立号から 2026 年 2 月号までの『日本の科学者』の PDF データを収録した記念 USB メモリ (カード型, USBType-A および Type-C 規格対応) を

作成します。事前申し込みを受け付けます。2026年2月22日のシンポジウムの日に完成予定です。

申込み締め切り：2026年2月21日（数量限定のため、売り切れの場合はご容赦ください）

価格（JSA 会員価格）：4000 円プラス送料 申込みは Google フォーム（準備中、12 月 10 日公開予定）から、もしくはメール(mail@jsa.gr.jp 宛)でご連絡ください。

**その他の記念事業**（企画中のものを含む）：記念ポスターの作成、事務所保管中のこれまでのさまざまな資料を PDF にして会員に公開。

**各支部でも 60 周年事業を！**：支部の催しにも「JSA60 周年記念」を冠して、JSA の歴史の一步としましょう。支部主催のイベントには「日本科学者会議 60 周年記念」の冠をかぶせましょう。イベントの開催・実施報告を、ぜひ事務局にお寄せください。**支部の歴史を振り返る機会**に 支部事務局に歴史的資料が残っていませんか。創立時の資料などがあれば、ぜひ全国事務局にお知らせください。ウェブサイトの記念コーナーに掲載させていただきます。

**寄付のお願い**：JSA60 周年記念行事シンポジウム・祝賀会開催、およびその他の記念行事実施のための寄付金を募ります。余剰が出た場合は JSA に寄付します。下記の方法により寄付をお願いします。

- 1) クレジットカード・Apple Pay・Google Pay 払い(リンク)
- 2) クレジットカード・Apple Pay・Google Pay 払い (右の QR コード)
- 3) ゆうちょ振替口座で入金 00180-8-86906 加入者名：日本科学者会議  
通信欄に「JSA60」と書いてくださるとありがたいです。



## 中原平和公園と川崎市平和館の見学の報告

後藤仁敏

2025 年 11 月 23 日、2.11 県民のつどい実行委員会が、「川崎で戦争の惨禍を学び、市民による平和実現を考えるフィールドワーク～か泉図書館でパネル展「川崎市平和館・中原平和公園を訪ねて」を実施し、10 名が参加しました。案内は、元法政第二高等学校教諭の渡辺賢二さんでした。

### 平和公園と平和館の歩み

戦争の準備が進められるなか、南部線沿線にも軍需産業が進出し、1936 年に東京航空計器がつくられ、12 万 m<sup>2</sup>の工場に 1 万人以上が動員されました。1945 年 4 月から 7 月まで、6 回にわたり川崎は空襲を受けて、大きな被害が出ました。

戦後、1945 年 9 月、米軍は東京航空計器に 24 時間以内に工場を明け渡すよう強制命令を出し、米軍の管理下になりました。1947 年には、米陸軍出版局がマニラから移転し、米陸軍出版センターとして機能してきました。

朝鮮戦争やベトナム戦争時には、30t を超える紙が消費されたといわれます。ベトナム戦争時の 1967 年には、解放民族戦線に投降を呼びかける謀略ビラが、約 50 億枚印刷されたとのこと。米軍将校 30 人、200 人の米兵、日本人従業員 300 人が勤務していました。



図 1 平和の誓いの母子像



図 2 川崎市平和館の入口

地元住民によるベトナム戦争反対と基地撤去を求める運動が起きました。1967年に東住吉小学校の児童が米軍関係者に引き殺される事故が発生し、歩道橋をつくる運動が進み、基地の一部が撤去されて実現しました。1969年には基地内の二ヶ領用水が撤去され、親水公園ができました。

1973年にベトナム戦争が終結すると、米陸軍出版センターは韓国に移転して基地が返還され、跡地に県立住吉高校と中原平和公園ができ、1992年には川崎市平和館が設立されたのでした。

### 中原平和公園を見る

平和公園は県立住吉高校を挟んで、北東側のはだしの広場（じゃぶじゃぶ池）と冒険広場、南西側の野外音楽堂、母子像池、彫刻広場などからなります。

母子像池には平和の誓いの母子像（図1）がありました。核兵器廃絶平和都市宣言の球場の記念碑、少女と鳩の銅像などもあります。

### 川崎平和館の展示

平和館は公園の北西の角に建てられています（図2）。1階には事務所、会議室があり、防空壕体験もできます。階段を昇って2階に行くと、テーマごとに解説と展示があります。川崎と戦争では、川崎大空襲の展示（図3）、部屋の模型による戦時中の市民生活の解説、川崎大空襲で米軍が投下した焼夷弾の実物大模型（図4）もあります。

日本と戦争では、明治以降の日清・日露からアジア・太平洋戦争、終戦と日本国憲法の制定までを展示しています。軍事力と非平和では、核兵器、生物化学兵器、通常兵器について解説していました。

国家による弾圧では、20世紀以降の国家による弾圧、虐殺を解説し、現代の武力紛争では、民族、テロ、難民などについて展示し、メディアと非平和では、非平和の装置ともなってきたメディアについて解説しています。

戦争以外の非平和では、環境問題、差別、貧困について、詳しく解説しています。最後の平和への取り組み（図5）では、政府や国際機関だけでなく様々な取り組み、川崎市の核兵器廃絶平和都市宣言も紹介しています。来館者が自らの平和のメッセージを貼り付けるボードも用意されていました（図6）。

戦争の惨禍を展示するだけでなく、どうしたら戦争に反対、平和を守ることができるか、環境・差別・貧困についても、しっかり展示解説している素晴らしい博物館だと感じました。

戦争の足音が近づいている今こそ、是非、多くの皆さんにご利用いただきたいと思い、紹介しました。

なお、当日、丁寧にご案内・ご説明いただいた渡辺賢二さん（図7）と企画を立ててくださった高木 誠さんに厚くお礼申し上げます。



図3 川崎大空襲の展示



図4 焼夷弾の実物大模型



図5 平和への取り組み



図6 平和へのメッセージボード



図7 館内で解説する渡辺さん

交通：武蔵小杉駅新南改札徒歩 10 分。入館無料。開館：9 時から 17 時開館。休館日は月曜日と第 3 火曜日（休日の場合は開館、翌日休）。電話番号：044-433-0232。

## 神奈川県憲法会議秋の学習会の報告

後藤仁敏

2025 年 11 月 28 日の夜、神奈川県憲法会議秋の学習会「9 条改憲許さない！憲法を生かし、平和・いのち・暮らしを守ろう」が南公会堂で開催されました。私にとっては 2017 年夏の市長選で決起集会を開いた会場で、当時を振り返り、懐かしく感じました。伊藤大貴氏を候補にした選挙終盤、ここで伊藤氏を押しあげる集会を開いたのだ。結果は、長島一由氏にも及ばずに 3 位落選に終わった悔しい選挙となりました。

学習会は事務局長の浅川壽一氏（弁護士）の司会で進められ、はじめに代表委員の森 卓爾氏が「参院選で自公が過半数割れを起こし、公明が連立から離脱し、自民と維新による高市政権ができて、アクセルが二つ付いた暴走車となった。今日の学習会は暴走ストップの第一歩にしたい」と挨拶しました。

### 呉東正彦弁護士の報告「横須賀の米兵犯罪について」

次いで、呉東正彦氏（横須賀市民法律事務所弁護士）が「横須賀の米兵犯罪（交通死亡事故）について」、次のように報告しました（図 1）。2022 年 7 月 9 日夜、逗子海岸から駅に向かう 5 名の男女に対し、酒に酔った米兵が通り魔的に連続障害行為を行う事件が発生した。米兵は逃走したが、逗子駅で警察官に拘束され、逗子署で取り調べを受けたが、逗子警察は米兵を逮捕せずに自宅に帰してしまう。被害者は傷害罪での刑事訴訟と損害賠償を求める民事訴訟を起こし、被告は飲酒と以前の受傷による意識障害状態であったと無罪を主張するも認められず、どちらも判決が確定した。しかし、米兵は執行猶予の判決がでるとすぐに帰国させるとの米軍の方針によって帰国しており、損害賠償も米軍による見舞金のほかに日本政府による支払いを求めている。



図 1 報告する呉東正彦弁護士

2024 年 9 月 18 日夜、横須賀市小川町の国道 16 号線で、米兵の運転する自動車の右折禁止違反でバイクで通勤中の会社員・伊藤翼さんが死亡した。執行猶予付きの有罪判決が出たが、米兵は帰国し、所在も不明になっている。被害者遺族は米兵に対する教育監督義務を怠ったことを違法として、日米地位協定に伴う責任をもつ国に対して賠償請求を求めている。

2025 年 2 月 11 日、横須賀市深田台の市道で、横断歩道を横断中の 87 歳男性が米兵の運転する自動車に跳ねられ重傷を負った。12 月 3 日（水）13 時 30 分から横浜地裁横須賀支部 4 階 401 号法廷で、被害者と代理人が意見陳述するので、傍聴をお願いします。公判後、ベルグ横須賀 3 階第 3 研修室で記者レク兼報告集会を開くので参加ください。

12 月 13 日（土）13 時 30 分から、横須賀市産業交流プラザ 3 階第一研修室で、吉田敏浩さん（ジャーナリスト）の講演「続発する米兵犯罪、事故と日米合同委員会合意」と、パネルトーク「続発する米兵犯罪、事故をどうやってなくしていくか？」を開催しますので、是非、ご参加ください。

### 永山茂樹氏の講演「戦後 80 年 憲法の現在とこれからの日本」

永山茂樹氏（東海大学教授、神奈川県憲法会議代表委員）は「戦後 80 年 憲法の現在とこれからの日本」について、以下のように講演しました（図 2）。

今年の秋の叙勲で、アベノミクスを推進し、規制緩和と大企業優遇で円安と物価高を招いた竹中平蔵氏と高市首相の夫の高市拓氏が旭日大綬章、初代防衛装備庁長官として軍学共同を進めた渡辺秀明氏が瑞宝重光章を受けた。安倍政治の再現の象徴ではないか。



図2 講演する永山茂樹氏

今、軍拡が進められている地域は、西アジア（イラン、サウジアラビア、イスラエルなど）とヨーロッパ（NATO 諸国、ウクライナ、ロシア）、そして東アジア（中国、日本、台湾、北朝鮮）である。2024年4月に米軍高官は「中国軍は2027年までに台湾侵攻能力を完成させる」と発言したが、「27年に台湾侵攻」とは言っていない。中国は台湾周辺で軍事演習を活発化し、中ロの協力も進展させている。台湾でも2026年度予算で前年から23%増の大軍拡をすすめて、米製の戦闘機や防空システムなどを購入し、サウジアラビア、イスラエル、日本に次ぐ第4位の米製武器輸入大国となっている。

日米同盟の動向では、24年2月の「キーンエッジ2024」では、台湾に侵攻する中国軍艦艇に自衛隊機がミサイル攻撃することを想定した日米合同指揮演習を実施している。24年12月には日米共同作戦計画を策定し、24年4月には南シナ海での衝突および台湾有事を想定した米比等合同軍事演習「バリカタン2025」に自衛隊も参加している。

11月7日、高市首相は衆院予算委員会で、中国を名指しして「台湾有事は存立危機事態」と発言した。従来は官僚が関知しないところで、「台湾をめぐる米中衝突→中国が米艦船・米軍基地を攻撃→存立危機事態」という筋書きであった。経済的パートナーだから戦争しないとはいえず、東アジアでは軍事衝突の危険があり、それを阻止するために日本は何をすべきだろうか。

前文と9条に明記された憲法の平和主義には、次の7つの課題がある。①戦争放棄は「専守防衛」「先制攻撃の否定」であったが、敵基地・敵地攻撃能力を保有し、行使できるとし、長距離ミサイルを配備している。②非核・非武装では、「核兵器三原則」が岸田以降の軍拡、核禁条約への不参加、核持ち込みの容認に向かっている。③軍事同盟の拒否・非同盟中立では、海外派兵、集団的自衛権、日米共同作戦、司令部統合が進められている。④安保条約・安保関連法では、基地建設・機能強化が進められている。⑤国際協調・平和外交では、中国を敵視し、日米軍事同盟を強化し、日中友好声明を反古にしている。⑥社会・政治・経済の悲軍事化では、軍事に依存する経済となり、学問・教育の軍事化が進められている。⑦平和にもとづいた人権保障では、他国からの軍事攻撃の目標にし、軍事優先で福祉が削減され、軍事増税が現実化している。

明文改憲も、自民党は改憲草案での改憲をあきらめ、4項目にしぼった改憲を公約に掲げてきた。一方、維新は、25年9月の「21世紀の国防構想と改憲」で、憲法9条2項削除による集団的自衛権行使の全面容認を掲げた。そして、自民・維新の「連立政権合意書」では、憲法9条改正と、緊急事態条項についての条文起草協議会を設置するとした。参議院では改憲派（自民・維新・国民・参政党）が多数を占めており、明文改憲の動きにも注目する必要がある。

排外主義は、欧州では移民・難民の急増に対する社会的リアクションとして起きているが、日本では「戦争をする国」づくりのために、政府が意図的に排外主義を利用しようとしている。

### 仁比聡平氏のビデオレター「新内閣発足と政治情勢」

仁比聡平氏（日本共産党参議院議員）は、ビデオで登場し、「新内閣発足と政治情勢」について、次のように話しました。賃金は上がらず、物価高で、消費税減税もなく、国民生活は苦しくなったのに、2024年度の大企業の内部留保は561兆円に達している。国民が望んでいる選択的夫婦別姓に世話向けて、自維連立合意では通称使用の法案を出すとしている。憲法を無

視し、軍拡でミサイル列島化を進め、核兵器禁止三原則も武器輸出三原則も変更しようとしている。従来の政府見解から逸脱して「台湾有事は存立危機事態」と発言し、米軍とともに武力行使するとしたのは許されないことで、発言の撤回を求める。衆議院比例の1割減で自維を過半数にし、民主主義を破壊しようとしている。高市政権の暴走を止めるため力を合わせて頑張りましょう。



図3 仁比聡平氏のビデオレター

最後に、構成団体の治安維持法国家賠償要求同盟県本部長の小澤陸夫氏が「11月16日の治安維持法100年の集会は230人の参加で大成功をおさめた。現代版治安維持法となるスパイ防止法案を許さない闘いを進めよう」と閉会挨拶しました。

呉東弁護士の報告も、永山氏の講演も、仁比議員のビデオレターも素晴らしい内容でした。ただ、寒い時期の夜の集会で、参加者が少ないのが残念に思われました。

## 九条かながわの会が憲法を守る運動の交流会を開催

後藤仁敏

2025年11月29日の午後、九条かながわの会が「憲法9条を守る交流会」を神商連会館4階で開催し、県内各地の九条の会の47人が参加しました。

はじめに、岡田尚事務局代表が、20年を振り返ってこれまで私たちが獲得したもの、これから私たちがめざすものについて報告しました。戦後80年を守ってきたことに確信を持ち新しい情勢のせめぎあいのなかで、新しい切り口で戦線を上げ強化しようと呼びかけました。



図1 横須賀市民9条の会の報告

その後、各会から活動が報告され、交流を深めました。横須賀市民9条の会はトマホークミサイル配備反対の3万筆の署名を市議会に提出したことを、ふじさわ・九条の会は「平和憲法の碑像」を建立したことを、九条の会・ちがさきは市の後援不承認取消訴訟について、今年は承認されたことを報告しました。九条にノーベル平和賞を実行委員会は、73.8万の署名を集め、日本被団協が平和賞を受賞したという大きな結実を得て、運動を終えると報告しました。



図2 うたごえの皆さん

岡部玲子事務局副代表の乾杯のあいさつの後、20年の歩みが映像で紹介され、18人の呼びかけ人を代表して、石川旺さん（上智大学名誉教授）が挨拶しました。

その後、本牧・山手九条の会、厚木市九条の会ネットワーク、東戸塚9条の会に続いて、かながわ女性九条の会が10年に沢田研二さんを招いて「愛・LOVE・9条」を県民ホールで2500人の参加で開催した事を報告しました。

うたごえの後、私が栄区九条の会の20年の活動のなかで他の九条の会や団体と繋がることで、運動を続けていることを紹介しました（後述）。南区九条の会、県職員九条の会、ひらつか9条の会、青葉台地域九条の会、逗子・葉山九条の会、奥さがみ九条の会、さがみ九条の会からも報告がありました。最後に、「9条を守り、世界に広げるためにさあ一、前を見つめて踏み出そう」とのかながわアピールの朗読と採択、浅野茂雄事務局次長のまとめで閉会となりました。

私の報告は以下のとおりです。

私は 2005 年から 9 年間、九条かながわの会事務局次長を、その後退職後の 2014 年から 2023 年までの 9 年間、事務局長をつとめました。故あって事務局を止めました。二人が事務局共同代表だと会議で決めたことを無視して、自分だけが代表だと押し付けるのでは、とても一緒に活動できないと感じたからです。今後活動には参加しないつもりでしたが、今回、高橋事務長から電話をいただき、参加することにしました。高橋さんにはお忙しいなか、無理を言って事務局長を交代していただいた恩義もあります。

私は、全国的には九条科学者の会事務局もしており、昨年 19 周年、今年 20 周年講演会を開催しましたが、今日は栄区九条の会の 20 年の歩みを報告します。栄区は横浜市南西部の人口 12 万の町ですが、元気なお年寄りが多い地域です。2005 年 2 月 25 日の県民ホール、大さん橋ホールの九条の会を聴く会に参加した人が中心になって、栄区でも九条の会をも九条の会をつくろうと相談し、2006 年 1 月に発足させました。浅野さんが印刷してくださった資料をご覧ください。

20 年活動し、最初の頃は皆元気で、3 周年には品川正治さんを、7 周年には澤地久枝さんに来ていただいて、あーすぷらざホールを満員にしたのは私たちの誇りです。学習会では、最年長として 96 歳の西倉勝さんにシベリア抑留の話を、若者では 20 歳の山本大貴君に気候危機の話をさせていただきました。中学生の朗読劇や地元の若者の太鼓集団「昇龍」の演奏もさせていただきました。最近では地元の 7 つの団体と共同で、大軍拡。大増税ストップ栄区アクションを結成し、駅頭宣伝やパレードもしています。

しかし、20 年活動するなかで、奥田昌子さん、鈴木悦子さんという二人の代表が亡くなり、事務局長の木村宏一郎さん、高橋俊一さんも亡くなりました。ニュースの発行と賛同者の名簿管理を担当してくださっていた高橋俊さんが亡くなったのは、大きな痛手で、なんとか、85 歳の日隈好恵代表がデータを受け継いで、続けています。

20 周年の記念レセプションを 11 月 15 日に開催し、これで最後としようかとも思いましたが、今後も続けて欲しいとの要望があり、日隈代表が「今後も続けます。皆さんのご協力をお願いします。是非、世話人になってください」と閉会挨拶をしました。

この十年間は、独自で大きな集会はできないので、他の 5 つの根岸線沿線の九条の会といっしょになって、連絡会をつくり、集会を続けています。栄区の会としても学習会などの活動を続けます。

皆さん、憲法破壊、9 条破壊に向かって暴走する危険な高市政権をストップするため、力を合わせて頑張りましょう。

## 2026 年度 JSA 助成研究を募集します

JSA 研究助成委員会

日本科学者会議研究助成要綱に則り、次の要領で 2026 年度 JSA 助成研究を募集します。この研究助成には、JSA 会員ならどなたでも応募できます。

**公募期間**：2025 年 11 月 1 日～ 2026 年 1 月末

**審査**：2026 年 2 月 **研究期間**：2026 年 4 月開始 **助成予算**：毎年 120 万円

**研究報告書提出**：複数年度実施の研究も含め毎年 3 月末迄に提出すること。

**研究成果公表メディア選択報告**：研究終了年度末から 3 か月後（6 月末）までに行うこと。

**研究助成限度額**：単年度研究 20 万円、複数年度研究 15 万円（3 年が上限）

**応募方法**：JSA ウェブサイト (<http://www.jsa.gr.jp>) の会員専用ページ（ユーザー名とパスワードをご存じない場合は所属支部役員にお問い合わせ下さい）から、申請書類「JSA 研究助成応募（様式 1）」をダウンロードし、所要事項を入力し申請書ファイルを完成させて下さい。

- ・申請書ファイルは、公募期間内（厳守）に全国事務局研究企画部 kenkyukikaku(at)jsa.gr.jp 宛に、「2026 年度研究助成応募」というタイトルの電子メールに添付して送信して下さい。申請受付後、速やかに返信メールを送ります。もし返信が届かない場合は、上記アドレスに問い合わせてください。
- ・各地区から互選された9人の研究助成委員に研究企画部長を加えた10名で構成する研究助成委員会が、提出された申請を審査します。多数の応募をお待ちしています。日本科学者会議研究助成要綱は会員専用ページにあります。

## 行事案内

- ☆12月18日(木) ①10:00～、②14:00～、③19:00～ **茅ヶ崎良い映画を観る会第445回特別例会 「グレタひとりぼっちの挑戦」**(監督・脚本:ネイサン・グロスマン) 会場 茅ヶ崎市民文化会館小ホール(茅ヶ崎駅北口徒歩12分) 料金:前売一般1000円、ハンディ800円(当日各200円増)、高校生以下無料 プレイガイド:茅ヶ崎市民文化会館、長谷川書店茅ヶ崎駅北口・南口店 主催:茅ヶ崎良い映画を観る会 後援:茅ヶ崎市、(公財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団 問合せ:福田 0467-86-8038
- ☆12月18日(木) 15:00～ **現役自衛官セクハラ国賠訴訟 第13回期日×院内集会・シンポジウム** 14時30分 集合 東京地裁正面前(霞が関駅すぐ) 14時45分 入廷行動 15時 裁判103号法廷 15時40分 報告集会(弁護士会館など) 16:30～18:45 院内集会・シンポジウム「自衛隊ハラスメントと心的外傷～原告自衛官と精神科医 蟻塚亮二先生と考える」 会場:衆議院第二議員会館1階多目的室 16時10分から通行証を玄関で配布 第1部:個別事案(担当弁護士による紹介、当事者心情、蟻塚医師コメント)、第2部:クロストーク(蟻塚医師「自衛隊ハラスメントによる心的外傷の特徴」、当事者・弁護団によるコメント) 主催:現役自衛官セクハラ訴訟国賠訴訟の支援クローバーの会 問合せ: clover.jieikan(at)gmail.com
- ☆12月19日(金) 10:45～ **座間基地抗議行動** 基地正門ゲートに集合 07年12月19日、同基地に米陸軍第1軍団司令部が設置された日 主催:基地強化に反対し、早期返還の実現をめざすキャンプ座間周辺市民連絡会 問合せ:090-7724-8172(菅沼さん)
- ☆12月19日(金) 18:30～ **12・19 国会議員会館前行動** 場所:衆議院第2議員会館前を中心に(国会図書館前のスピーカー配置は、ありません) 共催:戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会/9条改憲NO!全国市民アクション
- ☆12月20日(土) 9:30～12:00 **かながわ市民連絡会全体会** 形式:Zoom会議 内容:各区の報告、その他 担当司会:5区か6区、書記4区 問合せ:080-3402-3360(内藤繁)
- ☆12月20日(土) 10:00～12:00 **講演会「悪政のオンパレード、私たちはどう闘うか」** 会場:アミューあつぎルーム502・503(小田急線本厚木駅徒歩5分) 講師:五十嵐仁(法政大学名誉教授) 定員60名 資料代500円 主催:かながわ16区市民の会 申込み・問合せ:046-228-4717(上野さん)
- ☆12月20日(土) ①13:00～、②15:00～ **映画「ベアテの贈りもの」**(藤原智子監督・脚本、92分) **上映会** 会場:青葉台コミュニティハウス(本の家)1階多目的室 入場料:一般500円、大学生以下無料 主催:「ベアテの贈りもの」上映実行委員会 問合せ:045-971-5840(望月)
- ☆12月20日(土) 13:30～ **沖縄戦・日中戦争集結80周年 沖縄に連帯する神奈川のつどい** 会場:横浜市健康福祉センターホール(桜木町駅徒歩5分) 講演:高良沙哉(オール沖縄参議院議員)「沖縄ーその戦争準備ー現況とオール沖縄の闘い」 挨拶:玉城デニー(沖縄県知事) 報告:崎浜空音さん「基地と性暴力問題にとりくみ世界に情報を発信続ける」、菅沼幹夫さん「神奈川の基地強化は」 沖縄の魂を伝える 太鼓集団:笑鼓楽(しょこら) 資料代1000円、学生無料 主催:実行委員会 問合せ:045-663-0041(日中友好協会神奈川県連合会)
- ☆12月20日(土) 14:00～16:30 **「スパイ防止法」緊急学習会** 講師:三嶋健さん(弁護士) 会場:宮前市民館第4会議室(川崎市宮前区宮前平2-20-4、東急田園都市線宮前平駅下車徒歩10分) 資料代500円 主催:宮前九条の会 <https://miyamae9.web.fc2.com/index.html> 連絡先:044-855-8896(若原)
- ☆12月21日(日) 13:30～15:30 **制定は統一協会の悲願～「スパイ防止法」の危険性** 会場:うめとびあ世田谷区立保健医療福祉総合プラザ研修室A 講師:清水雅彦氏(日本体育大学教授、憲法学) 主催:市民連めぐり・せたがや

- ☆12月21日(日) 15:00~16:00 **衆議院議員・早稲田ゆきさんと神奈川4区市民連合との意見交換会** 会場：鎌倉生涯学習センター・4階美術創作室(鎌倉駅東口徒歩3分) 主催：神奈川4区市民連合 問合せ：080-5035-7168(小堀さん)
- ☆12月23日(火) 13:30~ **第65回中国映画「海角七号 君想う、国境の南」を観る会** 会場：戸塚区役所3階多目的スペース中(戸塚駅東西口すぐ) 資料代：一般500円、会員400円 問合せ：080-2981-3935(大幡さん) 主催：日中友好協会横浜西南支部
- ☆12月23日(火) 18:25~20:00 **一般社団法人勤草塾年末講演会 「トランプ2.0」と世界問われる日本の針路と2026年** 講師：太田昌克様(共同通信社編集・論説委員、早稲田大学客員教授) 会場：かながわ労働プラザ3階ホール(石川町駅中華街(北)口徒歩3分) 会費：2000円、学生無料 申込み：045-315-7530、t-saitou.jimusho(at)zd.wakwak.com 主催：一般社団法人勤草塾(代表理事・斎藤勁) 後援：神奈川新聞社、東京新聞横浜支局、連合神奈川など
- ☆12月24日(水) 19:00~ **春風亭一花ひとり会** NHK新人落語大賞受賞、期待の女性落語家 会場：関内ホール小ホール(JR関内駅徒歩6分) 全席指定 3000円 申込み：ごらく茶屋(045-252-2350)
- ☆2026年1月4日(日) 10:00~ **新春厚木基地ウオッチング&学習会** 10時に相鉄線相模大塚駅集合 現地行動後、13時から、学習交流会 会場：シリウス 資料代300円 主催：県平和委員会 問合せ：045-231-0103
- ☆1月6日(火) 13:30~16:30 『日本の「安全保障」政策で市民を守れるのか』 講演者：石井信久さん(島ジスタンディング)、平山貴盛さん(ジェノサイドに抗する防衛大学校卒業生の会)、ラサール石井議員(社民党副党首)、天笠啓祐さん(ジャーナリスト) 司会：島菌進先生(東京大学名誉教授) テーマ：日本の安全保障政策で市民は守れるのか 会場：東京ボランティア市民活動センター会議室B(飯田橋セントラルプラザ10階、JR総武線・東京メトロ副都心線飯田橋駅下車すぐ) 参加方法：オンライン参加者は事前予約必須(予約受付は即日から1月4日まで) 予約方法：予約はセミナー名「日本の安全保障政策で市民は守れるのか」(必須)、名前(必須)、連絡先(E-mail必須)を明記の上、下記E-mail先へ申込みください。 E-mail：jreikochan@yahoo.co.jp 神野玲子 またはこちらから <https://forms.gle/qFh4s11waSgFg3xu5> 参加費：1000円 ZOOMの場合は事前に1月4日までに下記に振込みください 郵便局からの送金の場合：口座番号10290-70860881 他行からの送金の場合：ゆうちょ銀行028店(セロニハチ) 普通7086088 口座名義 神野玲子 当日案内：振り込み確認後、案内およびZoom URLを1月4日頃メールにて送ります。問合せ：携帯番号 090-2669-0413 神野玲子 主催：ゲノム問題検討会議 (<https://www.gnomeke06.net/>)
- ☆1月9日(金) 12:30~13:30 **横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備撤回を求める署名活動** 場所：JR東神奈川駅東ロデッキ 呼びかけ：横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会(045-231-0103)
- ☆1月10日(土) 14:00~16:00 『スパイ防止法』の学習集会 えーっ!私スパイ? 会場：川崎市高津市民館第五会議室(武蔵溝ノ口駅北口徒歩10分) 資料代500円(学生・障害者無料) 講師：海渡双葉さん(弁護士、秘密保護法対策弁護団) 定員50名(先着順) 主催：秘密保護法を考える川崎市民の会 問合せ：090-6012-1907(伊藤)
- ☆1月11日(日) 14:00~17:00 『人権再入門』(前田朗著、学習の友社)出版記念シンポジウム：ヘイトとたたかう市民 会場：北とびあ第1研修室(JR王子駅前) 参加費500円 佐高信(評論家)「差別を助長する政治」、清水雅彦(日本体育大学教授)「反差別の憲法論」、辛淑玉(のりこえねっと共同代表)「のりこえねっとの活動を通して」、竹信三恵子(和光大学名誉教授)「生存を脅かす差別」 司会：前田朗(朝鮮大学校講師) 主催：平和フォーラム 問合せ：070-2307-1071
- ☆1月13日(火) 18:00~ **かながわ安保法制違憲訴訟 今後私たちはどうするかを考えるための集まり** 会場：横浜市開港記念会館1号室(みなとみらい線日本大通り駅徒歩1分) 問合せ：045-651-2431(弁護団 関守麻紀子)
- ☆1月17日(土) 14:00~16:30 **ノーベル平和賞から私たちが紡ぐもの 和田征子さんを迎えて** 会場：ヨコスカ・ベイサイド・ポケット(京急汐入駅徒歩2分、横須賀芸術劇場と同じ4階) 前売り1000円(当日1200円) 学生・障害者無料 朗読「ひろしまのピカ」 なぎさ会(横須賀被爆者団体協議会)からのメッセージ 群読「日本国憲法前文」 和田征子さん(日本被爆者団体協議会事務局次長)の講演 高校生平和大使 主催：和田征子さん講演会実行委員会 問合せ：090-1439-7813(三澤)

- ☆1月26日(月) 18:00~21:00 たんぽぽ舎セミナー室講座番号 900 新ちよぼゼミシリーズ「オルタナティブな日本を目指して」(ちよぼちよぼ市民によるちよぼちよぼ市民のためのゼミナール) 再開第18回「台湾有事」に突き進む日米同盟 講師:石井暁さん(共同通信社編集委員、防衛省担当、立命館大学客員教授) 著書:防衛省追及(2025 地平社)、自衛隊の闇組織—秘密情報部隊「別班」の正体(2023 講談社現代新書) 会場:たんぽぽ舎(Tki ビル3階、JR 水道橋駅西口徒歩4分) 参加費(資料代含む):900円(学生500円) 要予約 申込み・問合せ:TEL03-3238-9035
- ☆2月7日(土) 10:00~12:00 第71回神奈川地学ハイキング・神奈川野尻湖友の会合同行事:国立科学博物館特別展「大絶滅展—生命史のビッグファイブ」の見学 集合:国立科学博物館入口前に10時に集合(JR 上野駅公園口徒歩5分) 案内:後藤仁敏(古生物学者) 持ち物:筆記用具など 当日券:大人・大学生2300円、小・中・高校生600円 主催:地学団体研究会神奈川支部と神奈川野尻湖友の会 資料を用意しますので、できるだけ事前申込み願います 申込み・問合せ:電話090-7175-1911 E-mail: goto@kd5.so-net.ne.jp 後藤仁敏
- ☆2月11日(水・休) 12:45~ 「建国記念の日」に反対する2.11 神奈川県民のつどい 精神・思想の支配を意図する「建国記念の日」—その制定に奔走した瀨瀨彌三の軌跡を中心に 講師:瀨瀨 厚さん(山口大学名誉教授・歴史政治学) 会場:かながわ県民センター2階ホール(横浜駅西口徒歩5分) 資料代500円(高校生以下無料) 主催:2.11 神奈川県民のつどい実行委員会 連絡先:045-212-5855(神奈川労連 担当・住谷)、080-6709-4147(当日限り事務局)
- ☆2月14日(土) 14:00~16:00 衆議院議員早稲田ゆき議員在職20周年記念2026春のつどい 会場:鎌倉パークホテルB1(江ノ電長谷駅徒歩12分) 会費8000円(ご飲食代込み、15才以下のお子様・介助者無料) 応援弁士:泉房穂参議院議員 主催:早稲田ゆき事務所 申込み:0467-24-0573、mail: info(at)waseda-yuki.jp
- ☆2月22日(日) 13:30~17:00 日本科学者会議(JSA) 創立60周年記念シンポジウム テーマ:避戦と人間の安全保障—戦争を回避するための方策を問う 会場:中央大学茗荷谷キャンパス(丸ノ内線茗荷谷駅徒歩1分)+ オンライン 参加費無料 基調講演:1. 山極寿一(総合地球環境学研究所長、前京都大学総長)「暴力の由来とその解決策について」、2. 加藤陽子(東京大学教授)「近代日本の歩みの中に戦争を位置づける」、3. 志田陽子(武蔵野美術大学教授)「『安全保障』の氾濫と人間の生存保障—日本の地経学的課題と平和的生存」 パネルディスカッション(フロアからの質問や意見をいただき内容を深めます) 参加費:無料 参加申し込み:対面でご参加の方は申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください。オンラインでご参加の方、時期が近づきましたら <https://jsa.gr.jp/d/jsa60> にて申込みを受付ます。
- ☆2月22日(日) 18:00~20:00 JSA60周年記念祝賀会 2026年 会場:茗溪会館4階新泉・筑波(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅出口2 徒歩1分) 参加費1万円 定員:70名 参加申込みは12月半ば受付開始 JSA 創立60周年を記念して、記念シンポジウム終了後にささやかならが祝賀会を開催します。会場の都合上、定員70名とさせていただきます。参加申込みは <https://jsa.gr.jp/d/jsa60> にて12月20日から受付開始します。先着順とさせていただきます。

**JSA 神奈川支部幹事会・発送作業** 2026年1月の支部幹事会と発送作業は以下のとおりです。  
 日時:2026年1月13日(火) 14時30分~16時、発送作業は14時30分、幹事会は15時から。  
 会場:かながわ総研事務所(横浜市中区不老町1-6-9 第1HBビル5階、1階に「牡丹飯店」という中華料理屋のあるビルの5階、JR 関内駅西口徒歩3分)。  
 連絡先:飯岡ひろし(携帯:080-1987-0994、E-mail: jsa.kanagawa(at)gmail.com)

**次号の原稿の募集:** 近況、論説、報告、旅行記、論評、自著紹介、書評、その他、原稿をメールまたはファックスでお寄せください。毎月10日ごろの締め切り、15日ごろの発送です。  
 送り先:後藤仁敏(E-mail: goto(at)kd5.so-net.ne.jp、Fax: 045-894-1052)